

協会だよりー0412(12月号)

【トピックス】:

●第252回月例会講演会

日時：12月1日(水) 午後2:00-4:00

講師：金田晃一様 NTT データ サステナビリティ経営推進部 シニア・スペシャリスト

演題：「サステナビリティ経営におけるPCM戦略」

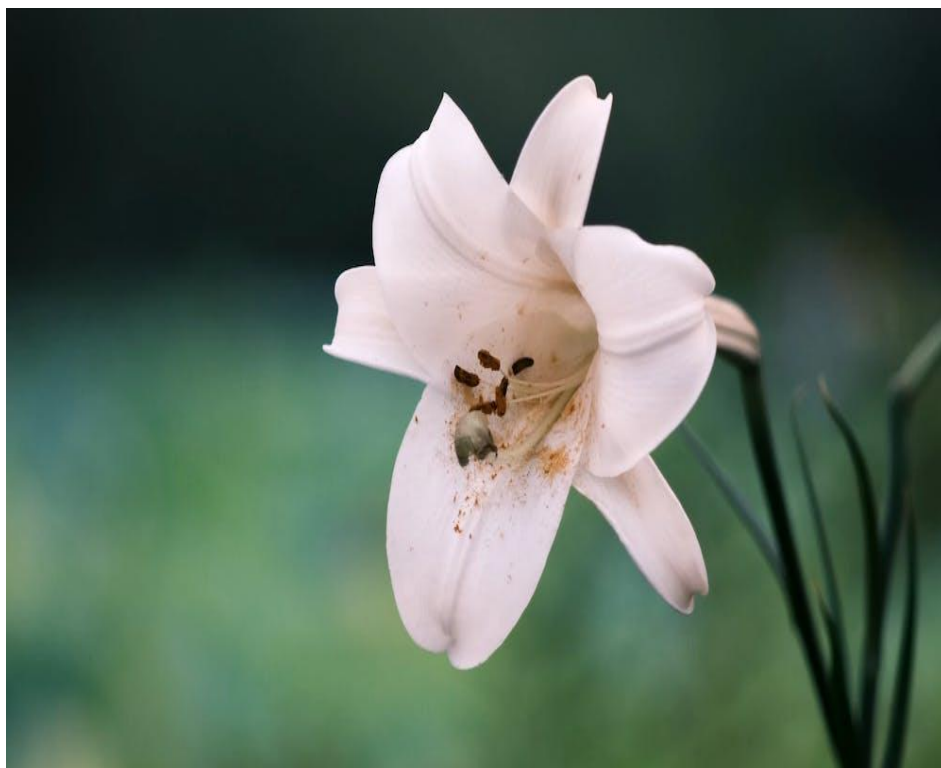
●第5回運営委員会の開催

日時：令和5年1月20日(金) 14:00 WEBにて

●第253回月例会講演会・新年会

日時：令和5年2月9日(木) 15:00-19:30

場所：如水会館 松風の間・富士の間



- 一. 協会よりのお知らせ
- 二. 「トピックス」
- 三. 「実施済事項」
- 四. 「予定事項」
- 五. 「その他・会員情報・林前副会長の退任挨拶」
- 六. 「事務局より(12月度の予定)」

CRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

3. 【実施済事項】

- ① 協会だより0411（11月号）をHPに更新・各会員並びにOB各位に配信
- ② 会員専用HPの更新
- ③ 令和4年11月月次の経費明細をPDFにて公開
- ④ 11月2日(水) 第44回JSCRA会を筑波カントリークラブにて開催しました。予定通り5組20名（14社）が参加。



優勝：武内様（日興リカ） 準優勝：小松様（松田産業）
3位：武田様（A&H） 詳細は会員専用HPに掲載

- ⑤ 第252回月例会の参加者募集並びに講演者との調整
- ⑥ 運営委委員会の開催 11月18日(金)ユミコアジャパン(株)会議室にて実施
第252回の運営方法並びに第253回月例会の対面実施について役員会に提唱する。終了後に有志にて森ビル内レストランにて親睦情報交換会の実施。

4. 【予定事項】

- ① 協会だより0412（12月号）の発行
- ② 会員専用HPの更新
 - 11月度経費内容公開
 - 第44回JSCRA会の結果報告
- ③ 第252回月例会（WEB講演会）の実施
日時：12月1日（水） 14：00－16：00
講師：金田晃一様

NTTデータ サステナビリティ経営推進部 シニア・スペシャリスト

演題：「サステナビリティ経営における PCM 戦略」

進行役：菊地様 日誠金属(株)

式次第：

- 14：00 進行役にて開演・式次第説明
- 14：05 安田会長の開催挨拶
- 14：10 金田様の講演開始
- 15：40-50 質疑応答・終演
- 15：55 永井副会長の閉会の辞
- 16：00 進行役の閉会（次回開催日告）

- ④ 2022年実績報告用紙の正会員担当者への配布
- ⑤ 2023年年頭挨拶を会長へ執筆要請及び新年号への協会だより掲載

5. 【その他・会員情報】

前副会長よりの退任挨拶

2022年11月25日

田中貴金属工業(株) 林光蔵

この度は、金光新副会長へバトンを渡すことになり、引継ぎを完了致しましたことをここに報告申し上げます。安田会長始め会員の皆様の多大なるご支援を賜り、副会長の職に携わることが出来、感無量でございます。転勤を機に交代ということになり心残りではありますので、これまでの触媒資源化協会での思い出などを少しお話しさせて戴きます。

私が、当協会にデビューしたのは、2010年でした。足掛け13年になります。ベテランの域ですね。当時弊社は、「監事」で弊社大先輩の角谷さんの右腕（かばん持ち）として参加させていただきました。

当時の協会だよりの集合写真を拝見すると皆さん「お若い！」です。

2015年10月の研修会では、弊社田中貴金属工業 富岡工場（群馬県）・世界遺産の富岡製糸場の見学、それと妙義カントリークラブでのゴルフ大会を開催し、工場見学は私が企画担当致しました。同業の会社様が会員でしたので社内承認や宿泊先宴席でのコンプライアンスなど多くのことを経験でき自身のスキルアップとなったことを覚えております。

その翌年の2016年、台湾出張中の私の携帯電話が鳴りました。その電話の主は、当時の三浦会長でした。「副会長」のオファーを頂戴し、悩みに悩んだ末、光栄な事でしたのお引き受けいたしました。ただ、その三浦会長は間もなくご栄転され、和氣会長へと交代されました。

不慣れな私を小林前専務理事はサポートしてくださり、小林さんの専務理事延長の原因は私にあったのではと考える次第です。私はこう見えても、緊張する性質を持っており特に挨拶となると緊張がMAXとなり満足にそれができていなかったのが悔やまれます。それでも、会員皆様の優しい笑顔と温かいお声掛けでなんとか危機を乗り

越えることができ幾度助かったことでしょう。ここ数年間の月例会（Web講演）での挨拶は、お蔭をもちまして落ち着いて出来ましたね。

最後になりますが、当協会は、触媒生産業者の団体である「触媒工業協会」の「廃触媒研究会」に使用済み触媒回収業者が参加したのがスタートとなっています。動脈産業の「触媒工業協会」と静脈産業の「触媒資源化協会」が両輪で活動することで高度な循環型社会が構築され、社会に貢献できると信じています。また、世界は静脈産業に大きな期待を寄せております。資源の少な日本では特にその期待は大きく、当協会の役割も重要となっていることから、引き続き当協会へのご支援の程を宜しくお願い申し上げます。また、お会いできるのを楽しみにしております。大変お世話になりました。ありがとうございました。

● お知らせ：

毎年一部の会員様より年賀状を事務局宛にお送り頂いておりますが、来年よりは近年の社会情勢を鑑み誠に勝手ではございますが、謹んでご遠慮申し上げます。

6. 事務局（12月予定） 出勤予定●：3日&在宅

出勤予定日：1日、15日、28日（年内最終）